



第66回宿南地区文化祭が開催されました

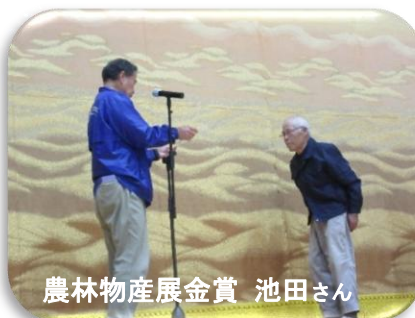
11月30日（日）宿南小学校体育館において、第66回宿南地区文化祭が開催されました。午前の部は宿南小学校の学習発表会、午後の部第1部は自治協議会 維田会長の挨拶に続き、農林物産展審査結果の発表と金賞受賞者の表彰が行われました。今年は23種類50点の出品があり、金賞は川東区 池田頼之様（蕪）と川東区 林博巳様（カボス）に、銀賞5名、銅賞10名の皆様も併せて紹介がありました。審査をお願いしたJAたじま様からの講評をPTA会長に代読していただきました。第2部は地元有志の方々による謡曲・三味線・銭太鼓・踊り・ダンス・ギター・ピアノ演奏等の芸能発表で日頃の練習の成果を披露していただきました。最後に恒例の「ふるさと」を全員で歌いました。

芸能発表終了後は、皆さんがお楽しみの「福引抽選」が行われました。あらかじめ入口で約160枚の抽選券を配布、会場で1等・2等の抽選に続いて3～5等の景品引き渡しがありました。

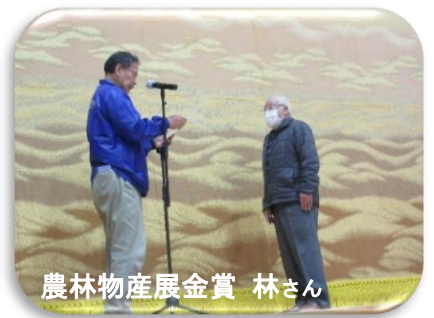
小学生の作品は体育館に、地元中学生の作品と地元の皆様の様々な作品は校舎2階ワークスペース他に展示され、芸能発表と共に芸術に触れる1日になりました。以下 写真にて文化祭の様子をご覧ください。



農林物産展



農林物産展金賞 池田さん



農林物産展金賞 林さん



花水木の会



三志会



Son's of folk



西村 翔吾 さん

花水木の会



齋藤 綾 さん



宿南地区文化祭

SEIKEI



みんなで歌おう
「ふるさと」



宿南地区文化祭

Spiel Freunde



編み物教室



絵画

ふれあいの日



編み物



八鹿青溪中学校



八鹿青溪中学校





色鉛筆画・写真・刺繍・俳画



池田草庵展



絵てがみ教室



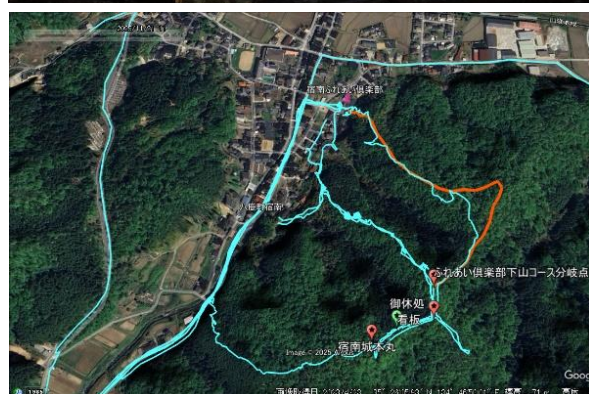
福引抽選景品引き換え

宿南城址登山大会に向けて（企画応援プロジェクトメンバー募集）

宿南城は康永（こうえい）年間（1342～1345年）の南北朝時代に築城されましたが、豊臣勢の但馬攻めの際に落城したと記録にあります。

この歴史のある宿南城址を訪ねるべく、10月22日登山道調査を「企画応援プロジェクト」で行いました。本丸の平地部分は、木が生い茂り城跡らしくありませんでした。そこで、11月22日に口三谷で取組んでいる森林ボランティア活動に合わせて、神戸から参加されているボランティアさんと「癒やしの里山プロジェクト」の地元有志と共に登山道の枯れ木処理や本丸の林内整備を行いました。豊岡市向きの視界も開け、国道と鉄道のトンネルもよく見える素敵な空間になりました。整備後の帰りに下山ルートも確認できました。

また、「企画応援プロジェクト」で宿南城址登山大会を計画したいと思います。関心のある方はご協力よろしくお願いします。



奉仕作業を実施しました



11月23日（日）8時よりふれあい隊・花水木の会・福祉部員の皆さんで年末のふれあい倶楽部の大掃除をしました。

花植えや庭木剪定など外回りも綺麗になりました。

クリスマスツリー登場



ふれあい倶楽部前で12月24日迄点灯しております。ご覧ください。



身近で見られる植物 ⑤4

サネカズラ〈マツブサ科〉

今の時期、赤い美味しそうな実を付けた葛があります。常緑つる性の植物で、別名ビナンカズラとも言い、漢字で「美男葛」と書くように茎から採れる粘液を整髪用（特に男性用）に使用されていたことからそう呼ばれているようです。赤い実は食べられるようですが、その種は「南五味子（なんごみし）」と呼び、強壮、咳止め用の妙薬として使われています。



喫茶ひまわりからのお知らせ

手作りお菓子の日

12月22日（月）25日（木）

美味しいアップルパイですよ。



年末年始の休業

12月29日（月）～1月5日（月）

新年は1月8日（木）から営業開始します。

1月19日（月）22日（木）の両日は

「新春お楽しみ福引」があります

是非お越しください。

お待ちしております。



お知らせ

12月21日（日）クリスマス会 ふれあい倶楽部ホール 10時～

12月25日（木）冬休みこども書院塾 1月5日（月）こども書き初め会 ふれあい倶楽部ホール

12月29日（月）～1月4日（日）宿南地区自治協議会休業

1月15日（木）体育部会

1月21日（水）文化部会



草庵先生紹介

日記 82



豊岡市京町にある
京極家の屋敷

濱 篤さん作

草庵の日記には、豊岡藩主京極高厚と手紙を交換したことがたびたび書かれている。

「（前略）今日豊岡侯の使者が手紙を持ってくる」（慶応元〈1865〉年7月2日）

「（前略）豊岡侯に手紙を書く」（同月5日）

この年は何度も豊岡藩に出かけて講義をした年である。藩主高厚の手紙は講義を聴いた感想やお礼が多かった。しかし、それだけでなく、豊岡地方を襲った大洪水の被害で領民の生活が苦しいが救助がなかなか行き届かないことや、藩政への助言を草庵に請うことを書いた手紙などもある。このような高厚からの手紙は、現在青谿書院には23通残されている（但馬史研究17号の山本稔著「池田草庵と京極飛騨守高厚」から）。京極飛騨守高厚が豊岡藩の9代目の藩主になったのは弘化3（1846）年12月である。高厚が藩主に就いてからしばらくして嘉永6（1853）年ペリーのアメリカの軍艦4隻が来航した。それ以後、国内は攘夷か開国かなどの対立が起き、徳川幕府の体制は揺れ動いていた。豊岡藩もその方向を定めるのが難しい時代であった。

慶応3（1867）年10月には、將軍徳川慶喜は、京都の二条城で政権を朝廷に返す大政奉還を諸藩の藩主を集めて宣言した。しかし、高厚はそこにはいなかった。「京都の様子は少しずつでもご承知のことと思いますが、意外なことで恐れ入っています。天下の藩主は京都に召され、私もすぐにでも京都に出向かなければならないところですが、いろいろと相談もしなければならぬこともあり、今なお在府しております。（中略）私どもの所は何分小家ではありますが、しかし、天下のことは家の大小には関係なく意見なども申したいところですが、私を初め確固たる議論ができる者もありません。そんな時、草庵師の『委細の書中』をいただき、朝廷への応答や幕府への建議などに生かしていけることで心強い限りです。京極飛騨守高厚 慶応3〈1867〉年12月15日 池田先生」（前掲、山本稔著）

「委細の書中」とは草庵が高厚の願いに応じて、今後の藩や国のあるべき姿などを書いて別紙として届けたものである。この後すぐに、王政復古の大号令が発せられ徳川幕府は終わりを迎えることになる。

池田草庵先生に学ぶ会